

水と緑を大切に、活力ある山縣市を目指して

協働のまちづくり活動補助金を活用してください!

協働して活力あるまちづくりを進めるため、

市内で自主的に取り組まれるまちづくり活動を支援します。

企画財政課 Tel.22-6825

平成29年度山縣市協働のまちづくり活動補助金の募集を受け付けます。

5月1日(月)～5月31日(水)

▶補助内容 補助対象事業費の5分の4以内 20万円まで

趣 旨	協働して活力あるまちづくりを進めるため、市内で自主的に取り組まれるまちづくり活動を支援します。
対 象 団 体	<ul style="list-style-type: none">・市内に活動拠点をもち、平成29年度内に山縣市まちづくり基本条例の理念を具体化しようとする活動を行い、または行う予定があること。・組織の設置を、定款、会則その他これに準じるもので定めていること。・年間の事業計画を有し、団体の収支が明確であること。
対象外の団体	<ul style="list-style-type: none">・法令、条例などに違反する活動をしている団体・公の秩序または善良の風俗を害する活動をしている団体・宗教活動、政治的活動または営利活動を主な活動としている団体・未成年者および市外在住者のみで構成された団体・山縣市が行う契約から暴力団排除に関する措置要綱(平成22年山縣市訓令甲第13号)第3条各号に掲げるもの
対 象 事 業	<ul style="list-style-type: none">・対象団体の年間の事業計画において実施される事業・自主的かつ公益的な事業・新規性または拡充性のある先駆的事业・単年度で実施する事業
対象外の事業	<ul style="list-style-type: none">・事業の効果が特定の個人または団体のみに帰属する事業・単に物品販売や営利のみを目的とし、公益性を欠く事業・施設の建設または施設の維持管理を主たる目的とする事業・先進地などの視察や各種会議への出席、交流にとどまる事業・政治活動または宗教活動を行うことを目的とする事業・その他補助することが適当でないと認められる事業
対 象 外 経 費	<ul style="list-style-type: none">・対象団体の運営経費に相当する経費・対象団体構成員に対する人件費、謝礼・その他補助することが適当でないと認められる経費

▶申し込み

補助金(助成金)交付申請書などの必要書類を5月31日(水)までに、企画財政課(市役所2階)へ提出してください。必要書類は、企画財政課にあります。詳しくは市HPをご覧ください。

山縣市 企画財政課(市役所2階)
〒501-2192 山縣市高木1000-1
Tel.22-6825・Fax27-2075

山県市協働のまちづくり活動補助金活用実績 「協働して活力あるまちづくりを目指して」

この補助金は「山県市まちづくり基本条例」の理念である、協働して活力あるまちづくりを進めるために取り組まれる、まちづくり活動を支援するものです。平成28年度は、4団体がこの補助金を活用して事業を行いました。

「乳児の森PR事業」 乳児の森 実行委員会

補助額121,000円

乳児の森実行委員会は、乳児の森公園でイベントを行い、乳児の森の良さを知ってもらい市内外の人を足運んでもらえる場所にするための活動を行っています。11月13日には、乳児の森公園で葛原地区を中心に多くのボランティアの協力を得て「紅葉まつり」を行いました。乳児の森の言い伝えにちなんだ、おっぱいパンの販売や、乳児絵馬のツールペイントなど、乳児の森をPRする商品を作成。葛原公民館そば打ち教室による手打ちそばの無料提供など、乳児の森公園のPRを行いました。



「連柿の郷ふれあい秋まつり2016」 平井自治会

補助額161,000円

平井自治会では、連柿の郷として郷土を見直すとともに、その振興を図るため、11月27日に「連柿の郷ふれあい秋まつり」を平井コミュニティセンターで行いました。柿渋染めの体験やバザーなどを開き、地区内外からの多くの来場者でにぎわいました。また、地区の風物詩である連柿の中を、ナツチョルクくんのみこしを子どもたちが担ぎ練り歩くなど、住民みんなの力で祭りを行うことで、地域の絆を深め、地域を思う気持ちを高めることができました。



「住みやすい旭ヶ丘を目指す事業」 旭ヶ丘自治会

補助額99,000円

旭ヶ丘自治会は、周囲を山に囲まれ豊かな自然環境に恵まれている反面、荒廃した里山に悩まされています。そこで、自治会周囲の土地所有者を把握し、山林所有者と協働して里山の整備を行いました。また、伐採した木を利用して、原木椎茸づくりを自治会内の子どもたちと行うこともでき、これからも地域で楽しみながら里山を整備できるきっかけになりました。地域の課題を自分たちで取り組むことで、自治会内の連携、協力を密にすることができました。



「市民協働による四国山香りの森公園活用事業」

NPO法人四国山を守る会
補助金48,000円

四国山香りの森公園を活用して、市内の小学生を対象に次の事業を行いました。「ふるさと山県」の大切さを感じてもらうために、11月に里山ウォークラリー、2月にスポーツ少年団卒団記念としてドウダントツジの植樹を行いました。また、四国山を守る会会員がイロハモミジなどを植樹しました。地域の人と協力して、事業を行う中で、子どもたちに四国山の歴史を知ってもらい、植樹を行うことで、「ふるさと山県」を子どもたちの心に残すことができました。

